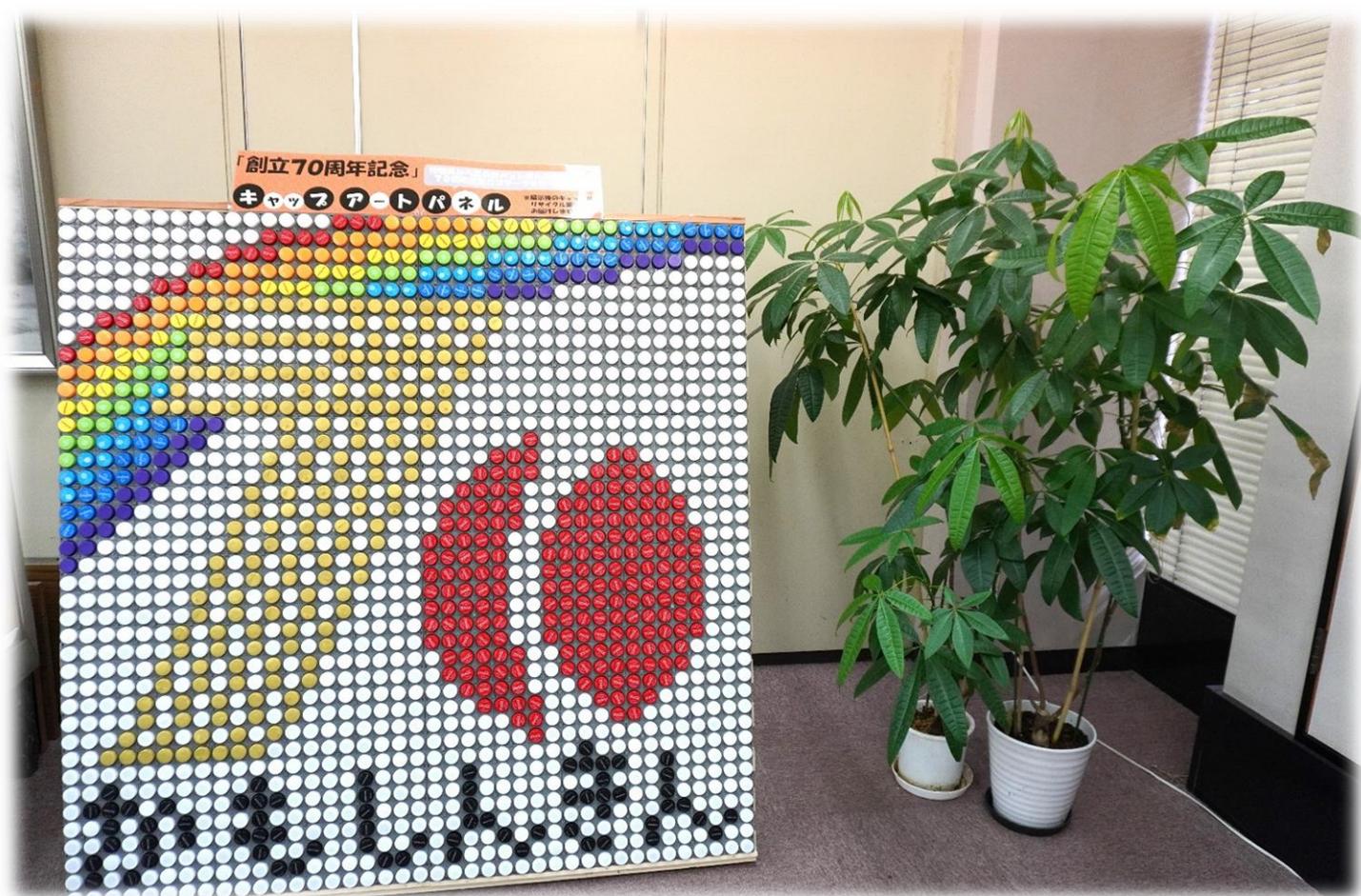


第70期 業務のご報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日



70周年記念キャップアートパネル

 加茂信用金庫



ごあいさつ



さわやかな初夏の候となりましたが、会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、加茂信用金庫に対し、格別なご支援、ご愛顧を賜り、心から厚く御礼申し上げます。ここに第70期の業務報告と決算についてご報告いたします。

当金庫は、創業以来、地元企業と地域住民のための親しみのある「地域金融機関」として、「地域社会の発展と豊かな暮らしの実現」を経営理念に、堅実経営に徹するとともに、地元ファースト・地元との運命共同体として、お客様から信頼され、お客様の期待にお応えできるような信用金庫を目指しております。

わが国経済は、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、ゆるやかな回復基調にあります。一方で、日本銀行をはじめとした各国中央銀行による金融政策の動向や、地政学リスクの高まりなど、国内外に散在するリスク要因により、その先行きは、不透明感の強い状況となっております。

また、信用金庫の営業基盤である地域経済に目を向けますと、人口減少や高齢化の進展といった従来からの構造的な課題に加え、ゼロゼロ融資の返済本格化や深刻な人手不足への対応、さらには脱炭素化の実現に向けた取り組みなど、対処すべき課題が山積しており、依然として厳しい状況が続いているなど地域経済の抱える課題が高度化・複雑化するなか、果たすべき役割の多様化が進んでおります。

こうした課題に対処し、地域経済の持続可能性を高めていくためにも、限られた業務効率化に取り組んでいくことが、これまで以上に重要となっております。

業績につきましては、滞留していたコロナ資金の落ち込みなどにより、預金の期末残高は79,839百万円で前期比1,366百万円の減少となり、期中平均残高も83,319百万円で前期比542百万円の減少となりました。

貸出金は、公金貸出の返済などにより期末残高は31,278

百万円で前期比3,656百万円の減少となり、期中平均残高は34,485百万円で前期比1,251百万円の減少となりました。

収益状況につきましては、収入面では、年度当初からの預け金の運用強化により預け金利息が前期比37百万円増加したことにより、業務収益は前期比35百万円増加しました。支出面では、評価損の度ている投資信託のメンテナンス56百万円を実施したことから、本業の儲けを表す業務純益は111百万円、コア業務純益は164百万円を計上することができました。

臨時費用では、コロナ禍での取引先の信用力低下などによる信用コストの積み増しを実施し、経常利益は86百万円、当期純利益は82百万円の計上となりました。

また、自己資本比率は、前期比0.19%上昇し14.04%となりました。

国内外の政治経済情勢が複雑に絡み合う状況下において、信用金庫は、取引先中小企業が経営環境の変化に的確に対応できるよう、今後も変わらず課題解決に取り組み、地域社会・経済の持続的な発展に向けて、その役割をこれまで以上に発揮していくことが期待され、求められております。

信用金庫や地域経済を取り巻く環境は著しく変化しており、まさに、激動の時代ともいえる局面を迎えております。

当金庫が地域からの期待に応え、地域とともに発展を続けるためには、「地域の、地域による、地域のための金融機関」である信用金庫として、この難局を乗り越えるべく、不断のチャレンジ精神のもと、全力で努力を重ねる所存でございますので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和6年6月

理事長

杵鞭 久

事業成績の推移

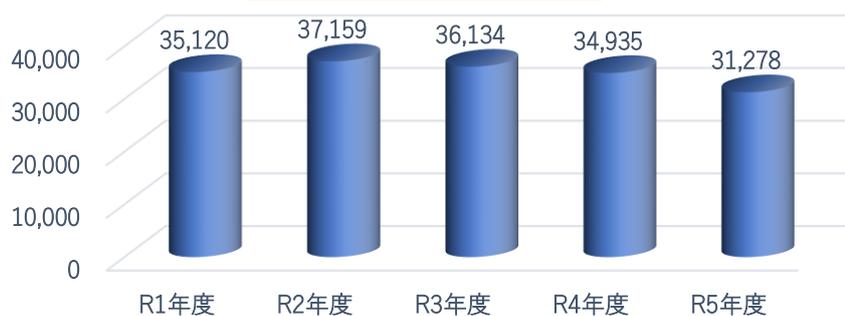
預金・積金残高の推移

[単位：百万円]



貸出金残高の推移

[単位：百万円]



会員数・出資金の推移

会員数 [人]

出資金 [百万円]



自己資本比率

当期の自己資本比率は、**14.04%** です。(前期は13.85%)



貸借対照表 (令和6年3月31日現在)

[単位：百万円]

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
現 金	1,150	預 金 積 金	79,839
預 け 金	20,914	当 座 預 金	1,039
有 価 証 券	28,498	普 通 預 金	30,254
国 債	2,074	貯 蓄 預 金	164
地 方 債	5,098	通 知 預 金	68
社 債	11,439	定 期 預 金	44,135
株 式	239	定 期 積 金	3,247
そ の 他 の 証 券	9,647	そ の 他 の 預 金	929
貸 出 金	31,278	そ の 他 負 債	140
割 引 手 形	290	未 決 済 為 替 借	29
手 形 貸 付	967	未 払 費 用	43
証 書 貸 付	26,715	給 付 補 填 備 金	0
当 座 貸 越	3,305	未 払 法 人 税 等	0
そ の 他 資 産	648	前 受 収 益	12
未 決 済 為 替 貸	14	リ ー ス 債 務	30
信 金 中 金 出 資 金	496	資 産 除 去 債 務	5
前 払 費 用	3	そ の 他 の 負 債	17
未 収 収 益	76	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	19
そ の 他 の 資 産	58	偶 発 損 失 引 当 金	7
有 形 固 定 資 産	570	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	1
建 物	84	繰 延 税 金 負 債	3
土 地	423	債 務 保 証	15
リ ー ス 資 産	27	負 債 の 部 合 計	80,027
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	34	(純 資 産 の 部)	
無 形 固 定 資 産	9	出 資 金	313
ソ フ ト ウ ェ ア	0	普 通 出 資 金	313
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	8	利 益 剰 余 金	3,475
前 払 年 金 費 用	29	利 益 準 備 金	313
債 務 保 証 見 返	15	そ の 他 利 益 剰 余 金	3,162
貸 倒 引 当 金	△ 327	特 別 積 立 金	3,000
(うち個別貸倒引当金)	(△ 314)	当 期 未 処 分 剰 余 金	162
		処 分 未 済 持 分	△ 0
		会 員 勘 定 合 計	3,788
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 1,028
		純 資 産 の 部 合 計	2,759
資 産 の 部 合 計	82,787	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	82,787

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



損益計算書 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

[単位：千円]

科 目	金 額
経常収益	1,069,202
資金運用収益	972,797
貸出金利息	603,591
預け金利息	59,944
有価証券利息配当金	299,921
その他の受入利息	9,339
役員取引等収益	63,515
受入為替手数料	23,729
その他の役員収益	39,786
その他業務収益	5,205
その他の業務収益	5,205
その他経常収益	27,684
償却債権取立益	2,238
株式等売却益	25,444
その他の経常収益	0
経常費用	982,427
資金調達費用	14,254
預金利息	13,840
給付補填備金繰入額	414
役員取引等費用	98,850
支払為替手数料	6,823
その他の役員費用	92,026
その他業務費用	56,402
国債等債券売却損	201
国債等債券償還損	56,200
その他の業務費用	0
経費	768,224
人件費	498,550
物件費	243,829
税金	25,845
その他経常費用	44,694
貸倒引当金繰入額	32,630
株式等売却損	4,127
その他の経常費用	7,936
経常利益	86,775
特別損失	3
固定資産処分損	3
税引前当期純利益	86,771
法人税、住民税及び事業税	930
法人税等調整額	3,304
法人税等合計	4,234
当期純利益	82,536
繰越金（当期首残高）	80,016
当期末処分剰余金	162,552

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



剰余金処分計算書（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

[単位：円]

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	162,552,660
繰越金（当期首残高）	80,016,003
当 期 純 利 益	82,536,657
これを次のとおり処分する	
剰 余 金 処 分 額	106,295,997
利 益 準 備 金	34,000
普通出資に対する配当金 （普通配当 年2%の割合）	6,261,997
特 別 積 立 金	100,000,000
繰 越 金（当期末残高）	56,256,663

以上のとおり報告いたします。

令和6年6月20日

加茂信用金庫

理 事 長	杵 鞭 久
常 務 理 事	田 邊 和 之
常 勤 理 事	福 原 一 芳
理 事	坂 上 通 男
理 事	阿 部 一 郎
理 事	樋 口 俊

以上、監査の結果、正確であることを認めます。

常 勤 監 事	阿 部 貴 行
監 事	高 橋 利 明
監事（員外監事）	弦 巻 博 行